

第1期新冠町まち・ひと・しごと創生総合戦略総括

《策定の経緯》

本戦略は、まち・ひと・しごと創生法第10条に基づく「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」として策定したものであり、町人口の将来展望を踏まえ、「しごとの創生」、「ひとの創生」、「まちの創生」を実現していくために実施していく施策を総合的かつ計画的に推進していくための目標及び基本的方向等を位置づけするものです。

《推進期間》

本戦略の推進期間は平成27年度から令和元年までの5年間としておりましたが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、本委員会を開催することが適当ではないとの判断から第2期総合戦略策定まで期間を延長しておりますので、目標値は令和元年度の数値ですが、実績値は令和2年度までの6年間で集計しております。

《戦略の基本目標》

国の推計では、年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）が将来急激に減少していくと推計され、高齢者割合も増加することが示されております。本戦略では、限られた経営資源の中、総合戦略を効果的に推進し、課題を克服していくため、下記4点の基本目標を定め具体的な施策を体系化し、施策の重点化を図ってきました。

- ①新冠町における安定した雇用をつくる
- ②新冠町への新しいひとの流れをつくる
- ③若い世代が安心して新冠町で結婚・出産・子育てができる環境をつくる
- ④時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、多様な主体と関係する

《戦略の推進管理》

総合戦略で掲げる施策の進捗度を客観的に把握するため、基本目標ごとに数値目標、施策ごとに重要業績評価指数（KPI）を設定しています。重要業績評価指数については、可能な限り数値による目標値を設定し、毎年度の戦略の進捗度を管理する基本データとしております。

《基本目標の総括》

【基本目標1 新冠町における安定した雇用をつくる】

数値目標	R1 目標値	H27～R2 実績値	達成率
農業分野における新たな担い手者数	5年間で10人	13人	130.0%
新規雇用者及び起業者数	5年間で40人	130人	325.0%

重要業績評価指数（KPI）

KPI 項目	R1 目標値	H27～R2 実績値	達成率
新規就農者数（人）	5人	6人	120.0%
農業経営体数（経営体）	250経営体	258経営体	103.2%
新規雇用者数（人）	35人	117人	334.3%
起業件数（件）	5件	13件	260.0%

～基本目標の設定根拠～

安定した雇用をつくることは持続可能な地域社会の基本となり、当町の基幹産業である第一次産業の振興はもちろんのこと、次世代の地域産業を支える後継者や、新たな担い手の確保と育成に努めるほか、企業誘致や起業を支援し、幅広い産業の雇用及び人材を確保しながら地域経済の活性化と持続可能な地域社会の礎となる人材の登用・育成のため設定しています。

～基本目標総括～

農業分野における新たな担い手者数の実績は、6年間で13人となり、達成率は130%でありました。これは、当町が採用した農業分野に係る地域おこし協力隊員数及び新規就農を行った人数の積み上げとなっております。地域おこし協力隊員については、令和2年度で3名の採用と、着実に成果を挙げているものと考えており、今後も独立就農へ向けた支援を継続したいと考えています。

新規雇用者及び起業者数の実績は6年間で130人となり、達成率は325%でありました。これは町内における法人の事業所設置及び転入した企業の雇用者総計です。法人登記から新規雇用者及び起業者数を調査しているため、法人化していない方はカウントできていないことから、実数は若干増加するかと想定されますが、食肉センターの開業及びニュータウンの宅地分譲において数値が上昇したのと考えられ、今後は大幅な上昇は見込めないものと考えています。

～K P I（重要業績評価指数）総括～

新規就農者数は、町内における親子継承以外の新規就農者数で、目標値5人に対し6人、達成率は120%となりました。地域おこし協力隊等により新規就農者は着実に増加していることから、一定の成果があったものと認識しています。

農業経営体数は、町内における農業経営体の総計で、農林業センサスの数値を転記しており、目標値250経営体数に対し258経営体数で、達成率は103.2%となりました。目標値は達成していますが、農林業センサスの経過を見ると経営体数は減少を続けており、後継者がいない状況での経営者の高齢化が進んでいる状況と考えられます。

新規雇用者数、起業件数については基本目標総括と同様です。

【基本目標2 新冠町への新しいひとの流れをつくる】

数値目標	R1 目標値	H27～R2 実績値	達成率
観光入込客数	44 万人	23 万人 (R2)	52.3%
20～30 代の転出入者の差	5 年間で 40 人増	23 人	57.5%

重要業績評価指数 (K P I)

KPI 項目	R1 目標値	H27～R2 実績値	達成率
観光入込客数 (人)	44 万人	23 万人 (R2)	52.3%
20～30 代の転出入者の差	5 年間で 40 人増	23 人	57.5%
新規雇用者数 (人)	35 人	117 人	334.3%
起業件数 (件)	5 件	13 件	260.0%

～基本目標の設定根拠～

全国的に見ても特徴的である馬がいる風景、豊かな自然、夏は冷涼で冬は温暖な気候。当町が持つ地域資源の潜在価値を最大限に引き出して活用することが、新しいひとの流れを呼び込む基本となります。この地域資源を活用して、観光、移住・定住など新たなひとの流れを創り出し、多様な人材の誘致に努め、地域の活性化を図るために設定しています。

～基本目標及び重要業績評価指数総括～

観光入込客数の実績は、平成27年度35万人、平成28年度35万人、平成29年度37万人、平成30年度37万人、令和元年度35万人、令和2年度23万人となっており、達成率は52.3%となりました。令和2年度までは約36万人で推移していましたが、新型コロナウイルスの影響により令和2年度については23万人と大幅な減少となっております。現在の情勢も観光を縮減するような状況ですが、日高自動車道の延伸等によって当町における観光機会は増大するものと考えているため、現状でも実施可能な施策の検討が必要と考えております。

20～30代の転出入者の差の実績は、6年間で23人の増となっており、達成率は57.5%となりました。目標値の5年間で40人増は達成できていないこと、西泊津地区の宅地分譲により一定数の増加があったことから、今後の移住・定住施策が課題と認識しています。

新規雇用者数及び起業件数は前述のとおりです。

【基本目標3 若い世代が安心して結婚・出産・子育てができる環境をつくる】

数値目標	R1 目標値	H27～R2 実績値	達成率
15～49歳女性の有配偶率	63%	46% (R2)	73.0%
出生者数	5年間で210人	188人	89.5%
合計特殊出生率	1.63	1.29 (R2)	79.1%

重要業績評価指数 (KPI)

KPI 項目	R1 目標値	H27～R2 実績値	達成率
15～49歳女性の有配偶率	63%	46% (R2)	73.0%
出生者数	5年間で210人	188人	89.5%
合計特殊出生率	1.63	1.29 (R2)	79.1%
子育てに不安や負担を感じているひとの割合	50%	76%	65.8%
出産や子育てで仕事をしていない女性のうち、すぐにでも又は一年以内に仕事がしたいと希望した割合 (雇用の充実による職場復帰が容易若しくは子育て支援の充実起因するものと解釈)	15%	9%	60%

～基本目標の設定根拠～

当町の合計特殊出生率は、全国平均とほぼ同様の水準となっているものの、出生数は年々減少しており、近年自然減の状態が続く人口動態となっています。また、進学や就職を機に若い世代の多くが町外へ転出する傾向にあり、これらのことが当町における人口減少の大きな要因となっています。この流れに歯止めをかけるためには、これからの地域社会を支える若い世代が安心して当町で結婚、出産、子育てができる環境づくりが急務となっており、結婚から子育てまで切れ目ない支援を行い、安心できる環境づくりを実施するため設定しています。

～基本目標及び重要業績評価指数総括～

15～49歳女性の有配偶率は、直近の令和2年度で46%となっており、達成率は73.0%となりました。出生者数の達成率は89.5%、合計特殊出生率では79.1%となり、目標値には届かないものの高い水準で推移していますが、目標値に達していないことから今後の関連事業について検討が必要と考えています。

令和元年度に実施しております新冠町子ども・子育て支援に関するアンケート調査では、子育てに関して不安や負担を少なからず感じていると答えた人は76%でした。目標値が50%ですので、26ポイント不安や負担を感じている人が増加する結果となりました。回答として多かったものが子どものしつけで13.7%、病気や発育・発達が13.2%、食事や栄養が11.2%となっています。

出産や子育てで仕事をしていない女性のうち、すぐにでも又は一年以内に仕事をしたいと希望した割合は9%で、目標値の15%を下回っていることから子育てしながら仕事ができる環境整備が不足していると考えられます。

【基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、
多様な主体と連携する】

数値目標	R1 目標値	H27～R2 実績値	達成率
20～30代の転出入者の差	5年間で40人増	23人	57.5%
移住・定住人口	60人	77人	128.3%

重要業績評価指数（KPI）

KPI 項目	R1 目標値	H27～R2 実績値	達成率
20～30代の転出入者の差	5年間で40人増	23人	57.5%
移住・定住人口	60人	77人	128.3%
転出者数の抑制	250人	276人	90.6%

～基本目標の設定根拠～

これからの時代を見据え、当町に安心して住み続けられるまちを形成していくことが人口減少に歯止めをかけていくことにつながり、こうしたまちを形成していくためには行政だけでなく、民間や地域住民、他自治体との連携など、互いの強みを活かし、弱みを補完し合う形で連携し、より効果的な取組みを行っていくことが重要となります。また、地域が元気であり、そこに住むひとがいきいきと暮らしていける環境を時代に合った形で形成し、より魅力ある地域、より住みやすい環境づくりを行っていくことも必要となります。このことを踏まえ、多様な主体と連携を図りながら、現在、未来に繋がる地域づくり、ひとづくり、安心して暮らしていけるまちづくりを進めるため設定しています。

～基本目標及び重要業績評価指数総括～

20～30代の転出入者の差は前述のとおりです。

移住・定住人口は5年間で77人にのぼり、達成率は128.3%で、移住・定住人口は増加していますが、西泊津ニュータウンの宅地造成が大きな起因となっており、今後の移住・定住人口の増加が重要となってきます。

転出者数の抑制は、直近の令和2年度が276人となっており、目標値の250人を超過しています。6年間の総計では転出者が転入者を82人上回り、転出者を抑制できていない結果となっています。